

都市再生整備計画 事後評価シート  
尾久地区

令和5年8月

東京都荒川区

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	荒川区		地区名	尾久地区			面積	269ha		
交付期間	平成31年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	1,573百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(近隣公園2箇所)										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-										
		提案事業	-										
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(LED街路灯整備事業)	地域の回遊性を向上させるために必要な事業であるため。					影響なし				
提案事業		-											
交付期間の変更	当初	平成31年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-		-									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	公園の利用頻度	%	34.4%	平成30年度	38.0%	令和4年度	モニタリング	評価値	○	あり なし	大規模公園の新規開園やリニューアルに伴い、公園利用者の増加に繋がった。	
	指標2	防災訓練等への参加人数	人	2,997人	平成29年度	3,500人	令和4年度	400人	1,693人	×	あり なし	コロナの影響により、防災訓練の実施数が減少した。	
	指標3	荒川遊園の年間来場者数	人	417,549人	平成29年度	450,000人	令和4年度		385,073人	×	あり なし	コロナ禍を考慮して入場者制限を実施したため、目標値の達成にいたらなかった。	
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	災害時に備えた食糧や飲料水の備蓄(自宅備蓄)	%	66.0%	R1				75.2%			災害時に活用できるオープンスペースが整備されたことにより、区民一人一人が防災意識を持つきっかけに繋がった。	
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2 - 2 地区の概要

尾久地区(東京都荒川区) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
コミュニティを醸成しにぎわいを創出する「魅力溢れる地域」を創り、まちの活性化を図るとともに、災害に強く、安全・安心な街づくりを目指す。 花や緑から多くの幸せを感じ、豊かな気持ちでゆとりある暮らしができるまちづくり 災害に強く、安全・安心に住み続けられるまちづくり 点在する地域資源の回遊性を高め、区内外からの来訪や地域の賑わいを創出し、まちの活性化を図る	公園の利用頻度	単位: %	34.4 H30	38.00 R4	45.4 R4
	防災訓練等の参加人数	単位: 人	2,997 H29	3,500 R4	1,693 R4
	荒川遊園の年間来場者数	単位: 人	417,549 H29	450,000 R4	385,073 R4
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>荒川遊園及び宮前公園の整備により、隅田川に接する水辺空間の連続性を確保し、うるおいのある環境創出に繋がっている。</li> <li>オープンスペースの整備により、一人当たりの公園面積が増加し、区民の防災意識の高まりに繋がり、町全体の防災力向上に寄与した。</li> <li>地域の観光資源となる荒川遊園のリニューアルにより、回遊性の向上に寄与し、まちの活性化に繋がっている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年齢層が利用できるユニバーサルデザイン施設を整備するとともに、小規模公園や公衆公園トイレの機能向上を図り、大規模公園や観光資源をつなぐ中継点となる空間を創出する。</li> <li>木造密集市街地において、災害に対してさらなる強い街づくりを推進するため、一時避難場所としての機能を補完する災害活動の拠点として、小規模公園の再整備を行う必要がある。</li> <li>誰もが安心・安全に利用できる小規模公園や公衆公園トイレとするため、施設配置を含め、見直し検討を行う。</li> <li>公園等の構造や配置に配慮し、死角のない見通しのよい安心・安全な施設整備を推進する。</li> </ul>